

美術放談

令和6年度
美術講座

美術分野の学芸員が毎回テーマに沿って美術について思いつくままにお話ししている美術掛け合い漫談「美術放談」。次第にファン(?)になつてくださる方も増えてきました。四年目となる二〇二四年度は下記のラインナップでお送りします。美術の楽しさ、ご一緒ください。

◆四月十三日(土) ◆ 十三時三十分～十五時

第一回 主(あるじ)のために

藩主の御用をつとめたお抱え絵師、お抱え刀工。仏に仕える心の表れとしての奉納品。主のために精魂込めて作られた美術品から、人々の思いを探ります。

◆六月十五日(土) ◆ 十三時三十分～十五時

第二回 私だつてすごいんです

センターは取れないけどなぜか存在感がある。美術史の脇道にいるそんな魅力的な美術作品を取り上げます。

◆八月二十四日(土) ◆ 十三時三十分～十五時

第三回 おしゃれ心あれこれ

おしゃれ心の表れ方も時代や職業などによって様々です。今見ても新鮮な感性、繊細な技術、そして美しく装うことへの憧れ。おしゃれ心という視点で美術史を見てみます。

◆十月十九日(土) ◆ 十三時三十分～十五時

第四回 美味しい美術

美味しいものは神や仏に捧げるものであり、共にすることでも人と人の結びつきを強めるものでもありました。美術史において美味しいものはどのように表現されてきたのでしょうか。

◆十一月三十日(土) ◆ 十三時三十分～十五時

第五回 共創の美術

多くの人の思いを一つの形にした美術。志を同じくする人たちが創り出した美術のムーブメント。歴史の中の共創の美術を知ることが今を創ることに繋がるかもしれません。

講師

小林めぐみ (当館学芸員)
塚本麻衣子 (当館学芸員)
川延安直 (当館専門員)

於 福島県立博物館講堂 定員二〇〇名(先着順) 申込不要 参加費無料
◆お問合せ◆ 福島県立博物館 電話〇二四二(二八)六〇〇〇